

排出事業者の法令順守、 廃棄物管理業務の効率化、 経費削減に貢献する 廃棄物情報管理サービスを開発

北九州で培った廃棄物処理技術で アジアの環境問題の解決に貢献する

西原商事は、昭和47年に古紙問屋として創業以来、廃棄物の収集運搬、廃棄物処理、リサイクルなどへ事業を拡大、廃棄物関連の総合企業として発展してきた会社である。

北九州で培った廃棄物管理やリサイクルの技術を、中国やインド、モンゴルやカザフスタン、そしてインドネシアなどアジアを中心に世界各国に広め、新興国の環境問題の解決に貢献しようとしている。

例えば、インドネシア・スラバヤ市では、ごみの最終処分場において、非衛生的な環境でプラスチック等の資源を拾い集め、生計を立てる人々が1万人規模で存在している。その現状を解決するため、中間処理施設を設置し、現地の人々を雇用。衛生的な職場を提供するとともに効率的なリサイクル作業でごみの減量を果たしている。

廃棄物収集運搬・処理事業で培ったノウハウを 核に、排出事業者の廃棄物管理を代行する 廃棄物情報管理サービス『bee-net』を開発

西原商事が、グループ会社のビートルマネジメントを通じ事業化したのが、スーパーマーケットなどの排出事業者の廃棄物管理を、情報システムを活用しトータルにサポートする廃棄物情報管理サービスである。

自社開発の廃棄物情報管理システム“bee-net”を活用し、排出事業者の店舗ごとの廃棄物の排出から運搬、そして処理までの情報をクラウド上で管理し、法令順守をサポートするだけでなく、管理業務の効率化、さらには廃棄物運搬、処理に係る経費の削減に貢献している。

廃棄物の処理には、監督官庁に定期的に提出するマニフェスト(報告資料)の作成をはじめ、処理業者の選定、契約や請求業務などの多大な工数を要する。この課題に対し、情報管理システム“bee-net”によりこれらの業務を代行するサービスを提供することで、顧客である排出事業者の管理業務の効率化を実現している。

経費削減の面では、受託業者の報告数量に基づく契

約ではなく、実際に店舗毎の廃棄物排出量を品目ごとに計量し、実態に即した契約に改めたり、リサイクルできるものはリサイクルし、ごみを減量したりなど、排出事業者の代わりに専門ノウハウを駆使し、顧客の経費節減という結果を出している。

平成22年にこの事業を開始して以来、年々顧客が拡大、平成26年には“bee-net”を活用する排出事業者は全国で3,654店舗に達し、また本システムを利用する廃棄物収集運搬、処理業者の数は3,181社まで拡大している。

類似サービスを提供する競争相手が参入する中、同社が年々顧客を拡大し続けているのは、廃棄物の収集運搬、処理に関するノウハウによる質の高いサービスの提供とともに、自社開発したフレキシビリティの高い廃棄物情報管理システム“bee-net”によるところも大きい。

同社は、顧客サポートのためにあえて社内に専門SEを5名抱え、排出事業者の廃棄物実態や運用ニーズに合わせ、スピーディにシステムをカスタマイズし提供できる体制を確立し、顧客の高い評価を得ている。



bee-net オペレーション

広く社会で期待され、信頼される企業を目指す、 “BEETLE”のロゴマーク

西原商事のロゴマークは、パープルブルーのカラーに“BEETLE”の文字。市内を走るきれいに磨かれた廃棄物運搬車を目にした方も多いであろう。

西原商事は、創業当初から「ごみを運んでいるが、夢も運んでいる」とごみ処理の仕事を通じ「広く社会で期待され、信頼される企業になる」ことを目指してきたという。車と同じパープルブルーの制服や建屋、事務所の室内は



専務取締役
西原 靖博 氏

1980年 北九州生まれ。
1997年西原商事入社。幼少の頃から父が営む廃棄物処理業を手伝い、10歳で家業を継ぐことを決意。いわゆる「ゴミ屋さん」を超えた企業組織を目指し、アイデアと機動力を活かして全国へ営業展開実施中。「やれると思え、その道はある」の精神で、廃棄物業界の見える化と更なる飛躍に胸に秘め、若手社員の育成に力を注いでいる。

気持ちよく磨かれ、とりわけ社員の明るく大きな声の挨拶には、清々しさを感じない人はいないであろう。「整備された車と質の高いドライバーが誇りです」と言い切る西原専務、一般消費者が集まるスーパーマーケットなどの店舗においては、廃棄物収集運搬を行う“BEETLE”は、信頼に足るパートナーとして、高い評価を得ていることがうかがい知れる。

今後も、CPF事業(石炭代替品リサイクル事業)や、食品リサイクル事業等を通じ、地域に貢献するなど、広く社会で期待され信頼される企業を目指している。



インドネシアでの作業風景

企業概要		DATA
企業名	株式会社 西原商事	
代表者	西原 孝思	
所在地	北九州市八幡西区陣原2-2-21	
TEL	093-641-2055	
FAX	093-641-2088	
資本金	5,000万円	
創業	1972年	
従業員数	61名	
事業内容	廃棄物処理コンサルティング、資源買取、国際開発等	
URL	http://www.nishihara-corp.jp/nishihara/	

マーケティング 専門家の目

西原商事は、排出事業者の廃棄物管理を代行する廃棄物情報管理サービスを開発、排出事業者の法令順守を支援、さらには管理業務の効率化、廃棄物処理に係る経費の削減に貢献している。競争相手が参入する中、同社が年々顧客を拡大し続ける背景には、本業で培った質の高い廃棄物管理サービスの提供と共に、顧客の運用ニーズに合わせシステムをスピーディにカスタマイズできる力が寄与しているものと思われる。



株式会社 西原商事

廃棄物情報管理システム「bee-net」
～廃棄物処理の透明化～

